

令和8年度
小中学校校長会研修総会

「校長先生 幸せですか？」

岐阜県教育委員会
浅井 孝彦

岐阜県

令和9年度 教員募集



心がつながる…
笑顔があふれる…

そんなあたたかい瞬間を、子どもたちとともに

校長先生、幸せですか？



息子：ねえねえ、ママ。介護の仕事って、
どういう仕事か知ってる？

母：うん、「誰かの役に立つ仕事」よ。

息子：ううん、違うよ。「誰か」じゃなくて、
「目の前で困っている人の役に立つ仕事」だよ。

(FM AICHIラジオCMコンテスト2025受賞作品より)

「誰か」のためじゃない。

「目の前にいる子供たちの笑顔のために」

「目の前にいる子供たちの未来のために」

働ける私たちの仕事って最高ですね。

♥️「最高の仕事」だからこそ、幸せを感じたい

幸せになるために

- ♥ 夢を語っていますか？
- ♥ 自分に合ったリーダーシップを
- ♥ 職場に幸せを生み出すために

夢を語っていますか？

少子高齢化社会

経験したことのない予測困難な時代

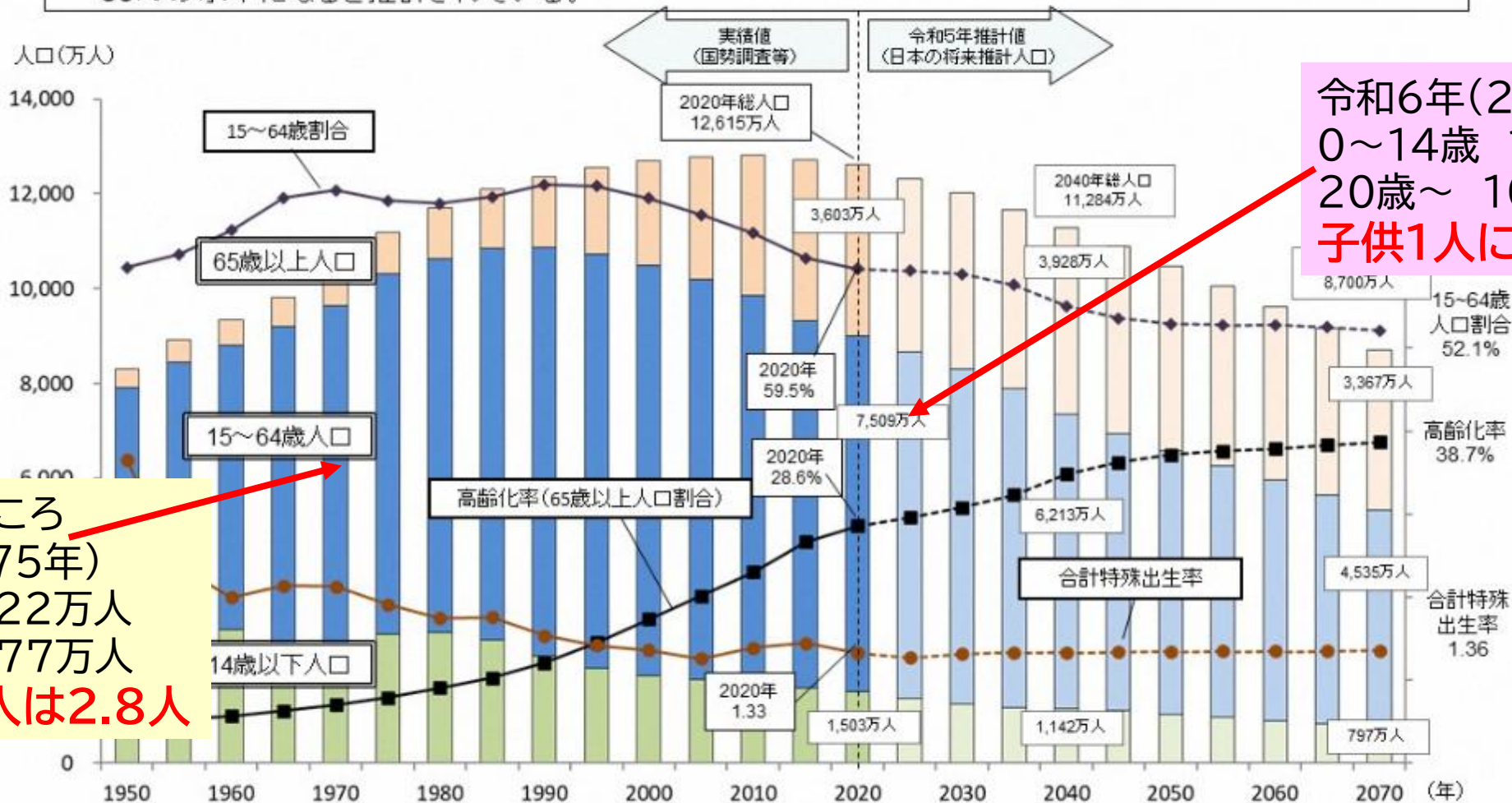
複雑で多様な価値観 共に生きる社会

夢を語っていますか？

■ 少子高齢化社会

日本の人口の推移

○ 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2070年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は39%の水準になると推計されている。



令和6年(2024年)
0~14歳 1,383万人
20歳~ 10,452万人
子供1人に大人は7.6人

私が7歳だったころ
昭和50年(1975年)
0~14歳 2,722万人
20歳~ 7,677万人
子供1人に大人は2.8人

(出所) 2020年までの人口は総務省「国勢調査」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」「出生中位(死亡中位)推計」

夢を語っていますか？

■ 私たち大人が経験したことのない予測困難な時代

V

olatility(変動性) …変化のスピードが速く、幅も大きい

U

ncertainty(不確実性)…将来何が起こるか予測できない

C

omplexity(複雑性) …要因が複雑に絡み合い、因果関係が見えにくい

A

mbiguity(曖昧性) …状況の解釈が複数存在し、何が正解か明確でない

私たち大人だって、経験したことのない時代を生きてきた。
大人はいつだって、自分たちのものさしで未来を決め付ける。
子供たちは、「予測が困難なくらい明るい未来」を切り拓いていくために
「夢」を語り、「今」を大切に生きている。

夢を語っていますか？

■複雑で多様な価値観 共に生きる社会

今を生きる子供たちは

性別、年齢、国籍、障害の有無、性的指向、性自認などにかかわらず、ひとりひとりが違った個性や能力をもつ個人として尊重される社会

多様な価値観が尊重されるべきという社会に生まれた

画一的な価値観や偏狭な価値観に縛られているのは私たち大人である。

夢を語っていますか？

明るい未来のために、教師こそが夢を語りたい

校長先生には、その権限を最大限発揮して
先生方が夢を語れる学校をつくってほしい

校長先生自身が、夢や理想を語っていますか
校長先生自身が幸せを感じていますか

自分に合ったリーダーシップを

(1) 大きな勘違い

- × リーダーシップを「発揮する」
- ◎ リーダーシップを「とる」

リーダーシップとは資質や能力ではなく、行動である

「行動する」とは率先して動くこと？
視座を高く持ち、進捗状況を把握し、
人的な配置や方向性を示し決めていくこと

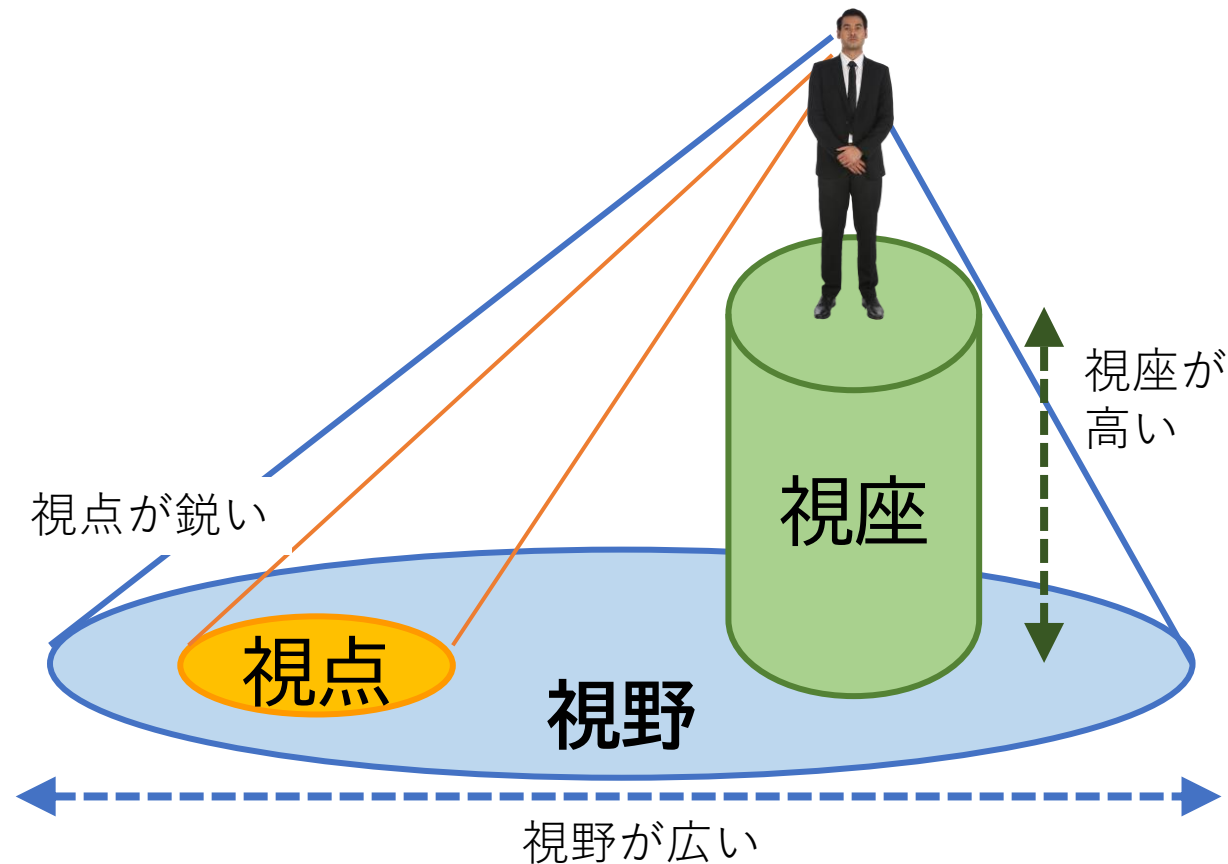
自分に合ったリーダーシップを

(2) 視座を高く持つ

視座 物事を捉える立ち位置「高い」「低い」

視点 物事を捉える観点「鋭い」「鈍い」

視野 物事を捉える範囲「広い」「狭い」



異なる経験や背景、経験値の質と量の差

視座を高く持つ 視野が広がる 視点が多くなる

職場に幸せを生み出すために

(1) ケアと承認を大切にした学校づくり

厚生労働省が推奨する「4つのケア」

- ① セルフケア(労働者自身によるケア)
- ② ラインによるケア(管理監督者によるケア)
- ③ 事業場内産業保健スタッフ等によるケア
(専門スタッフによる支援)
- ④ 事業場外資源によるケア(外部機関の活用)

「権威勾配」

■学校にはセルフケアを尊ばず、ラインケアが生まれにくくなる文化がある。

R7.7.8内外教育「誰が教員のこころのケアを担うのか」より

しっかりと向き合い、話をよく聴き合い、信頼して任せる
「誰一人悲しい思いをさせない」安心感あふれる学校づくりを

職場に幸せを生み出すために

(2)「人を育てる」から「人が育つ」学校づくりへ

「人を育てる」 → 主語は誰？

「人が育つ」 → 主語は誰？

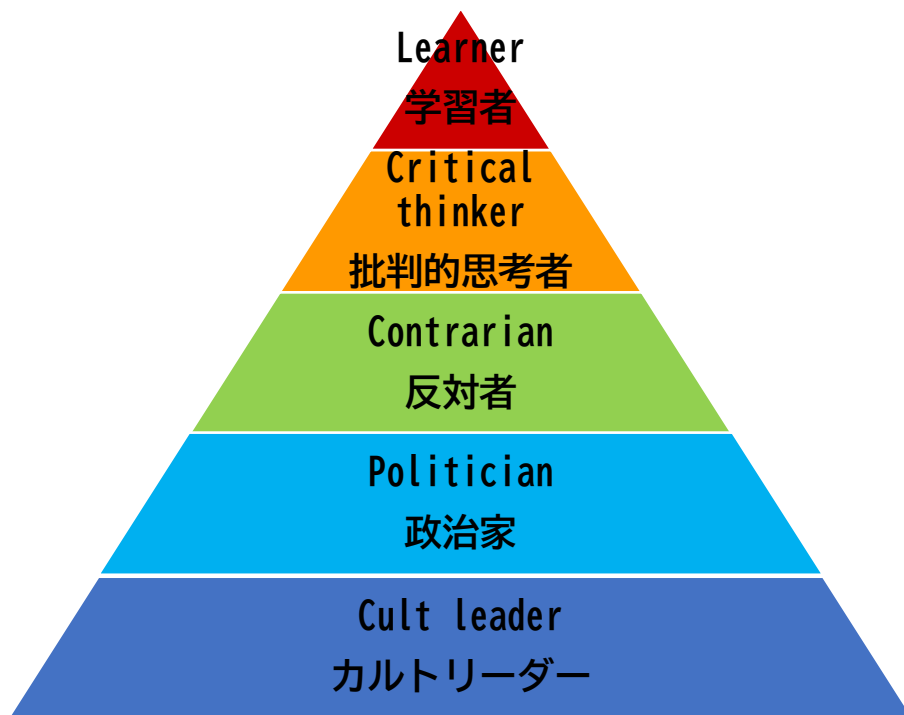
人が育つ仕組みや環境を整えることに腐心すべき

「傾聴し、問い返す」 話す＝相手の時間を奪う

職場に幸せを生み出すために

(3)「人間の最大の罪は不機嫌であること」 ゲーテ

■思考スタイルのヒエラルキー



出所 アダム・グラント「思考スタイルのヒエラルキー」

誰もが、複数の思考の状態をもっている。
自分がどの状態にあるのか、
自分の思考の傾向に気づいているか。

校長先生の思考スタイルが、
無意識のうちに、無自覚のうちに、
学校の雰囲気を作り作ります。

自分を知ることが、ご機嫌で幸せな職場をつくる第一歩

校長先生、幸せですか？

「どうして教師になったのですか？」

「どうして校長になろうと思ったのですか？」



執務室から窓の下を眺め、幸せを感じています